

## 文教福祉常任委員会会議録

招 集 月 日	令和 7 年 9 月 26 日 (金)
会 議 場 所	市役所 5 階 議場
開 会 日 時	令和 7 年 9 月 26 日 (金) 午前 11 時 45 分
閉 会 日 時	令和 7 年 9 月 26 日 (金) 午前 11 時 50 分
委 員 長	織田 京子
委員会出席議員	織田 京子 後藤 耕佑 潮田 幸子 諏訪三津枝 西尾 紗子 芝寄 和好
委 員 長	織田 京子
副 委 員 長	後藤 耕佑
委 員 員	潮田 幸子 諏訪 三津枝 芝寄 和好 西尾 紗子
欠 席 委 員	
議 長	
委 員 外 議 員	
傍 聽 者	なし

議 題

議案番号	議 題 名	審査結果
	発言の訂正（健康福祉部福祉課長）	
	議員派遣について	

委員会執行部出席者

（健康福祉部）

健康福祉部長 木村 勝美

健康福祉部副部長 高子 英江

福祉課長 鈴木 恵子

書 記  
書 記

國島 清文  
藤平美由紀

(開会 午前11時45分)

(委員長) ただいまから、文教福祉常任委員会を開会いたします。

はじめに、委員会記録の署名委員を指名いたします。潮田幸子委員と諏訪三津枝委員にお願いいたします。はじめに、福祉課長より発言の訂正しの申し出がありましたので許可いたします。

(福祉課長) 発言の訂正をお願いします。令和7年9月12日に行われました文教福祉常任委員会の議案第79号令和7年度鴻巣市一般会計補正予算第4号の審査の中で、諏訪委員と西尾委員の生活扶助費の返還の額と内訳に対する質疑の答弁で、生活保護受給者から支援の扶助費の返還理由と件数の内訳のうち、資産売却2件で約2,310万8千円と答弁しましたが、正しくは資産売却2件で約231万8千円です。また入院給付金4件で約1,501万8千円と答弁しましたが、正しくは入院給付金4件で約151万8千円です。またその他として86件約3,144万2千円と答弁しましたが、正しくは、その他として88件で約3,101万8千円です。お詫びして訂正します。続きまして、令和7年9月16日に行われました文教福祉常任会の議案第84号令和6年度鴻巣市一般会計決算認定の審査の中で、西尾委員の生活困窮者自立支援事業においての直近3年間の利用件数に対する質疑の答弁で、家計改善事業についての利用件数のうち令和6年度については延べ69件と答弁しましたが、正しくは延べ208件なり、6年度の件数が増加した理由は、社会保険労務士法人へ委託したことによるものです、お詫びして訂正をお願いします。

(委員長) ただ今の発言の訂正につきましてはご了承願います。なお、会議録の調製及び委員長報告書につきましては、副委員長に一任願います。

続いて、文教福祉常任委員会の委員派遣について、お諮りいたします。閉会中の継続審査とした特定事件について、令和7年10月30日、ふじみ野市「ふじみ野市地域の医療と介護を守る条例について」、10月21から10月23日の3日間、静岡県磐田市「磐田市健幸づくり及び地域医療を守り育む条例について」、静岡県掛川市「こころの相談ノートについて」「地域保健医療支援センター「ふくしあ」について」、静

岡県静岡市 静岡市立静岡病院「病診連携システムについて」、11月5日、神奈川県横須賀市「在宅医療と介護の連携推進について」の視察を行うことに、ご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。

よって、文教福祉常任委員会の委員派遣について、ただいま申し述べたとおり行うことに決定いたしました。

これをもちまして、文教福祉常任委員会を閉会いたします。

なお、会議録の調製及び委員長報告書につきましては、副委員長に一任願います。ご苦労様でした。

(閉会 11時50分)